



ちばぎんコア投資ファンド(安定型／成長型)
愛称：ちばぎんラップ・ファンド

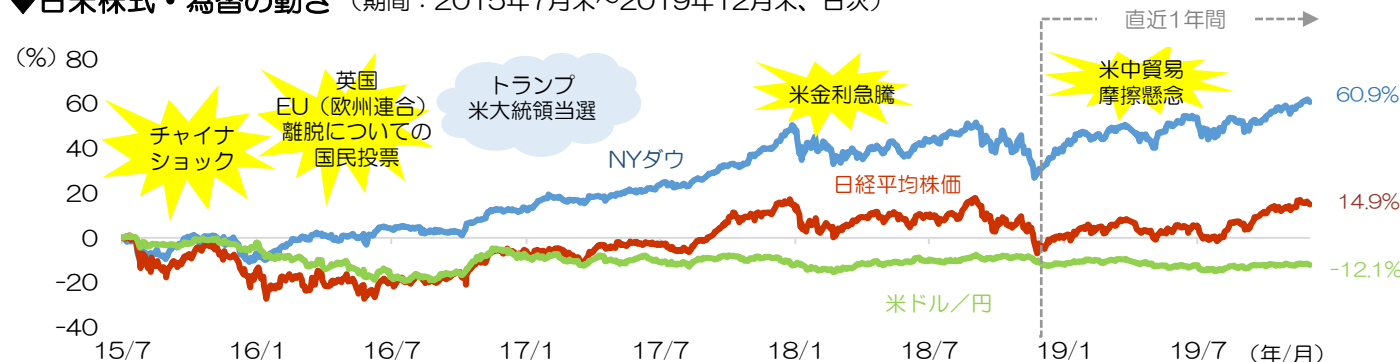
臨時レポート 設定来の運用状況と今後の見通し

1. 市場環境

【設定来】米トランプ政権による保護主義的な政策などが世界景気の重石となったものの、減税などの財政刺激策や緩和的な金融環境などを背景に米景気が堅調に推移したことから、世界の株式市場は概ね上昇基調となりました。

【過去1年間】米中貿易摩擦の激化を背景に世界景気の減速懸念が高まったことから、欧米中銀が利下げに転じるなど世界的に金融緩和基調が強まりました。資産別では各国の債券利回りが低下する一方、先進国の株式市場などは底堅く推移しました。

◆日米株式・為替の動き（期間：2015年7月末～2019年12月末、日次）



※株価は現地通貨ベース

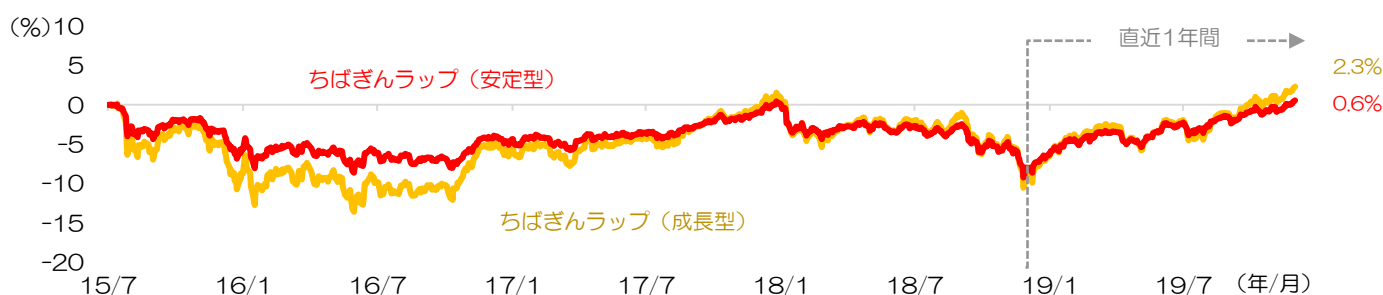
（出所）ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

2. ちばぎんラップのパフォーマンス

【設定来】2015年のチャイナショックの前後で運用に苦戦し、十分なリターンを獲得できませんでした。

【過去1年間】市場変動が大きくなるなか、分散投資効果を発揮しながら、一定程度の収益を獲得できました。

◆ちばぎんラップ（安定型）／（成長型）のリターン推移（期間：2015年7月末～2019年12月末、日次）



◆ちばぎんラップ（安定型）／（成長型）のパフォーマンス（2019年12月末基準）

ちばぎんラップ	過去1年間	設定来	
	累積リターン	累積リターン	3カ月間最大下落率
安定型	9.3%	0.6%	▲5.3%
成長型	12.0%	2.3%	▲7.5%

*「安定型」とは元本保証等を意味するものではなく、「成長型」と比較して安定的な運用を目指すファンドであることを意味しています。
*「3カ月間最大下落率」とは、設定来の期間において、基準価額の3カ月間毎の騰落率を算出し、その中で最大に下落した率を表したものです。
各月末の基準価格を用いて算出しています。

※ファンドのリターンは、基準価額（信託報酬控除後）を使用しています。

（期間）過去1年間：2018年12月末～2019年12月末。設定来：2015年7月末～2019年12月末

■当資料は、投資者の皆様にご「ちばぎんコア投資ファンド(安定型／成長型)(愛称:ちばぎんラップ・ファンド)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

3. 設定来の目標配分比率の推移と主なポイント

「攻めの資産」のウェイト引き上げ

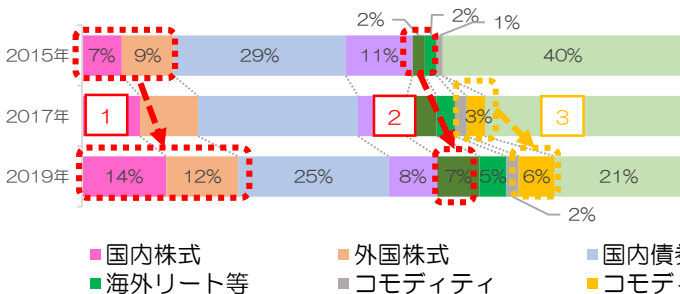
- 1 世界経済の成長を取り込む
メインエンジンとなる株式を引き上げ
- 2 株式リスクが高まりすぎないように、
「攻めの資産」内でも分散を意識して、
割安感のある国内リートを引き上げ

新たな「守りの資産」の導入

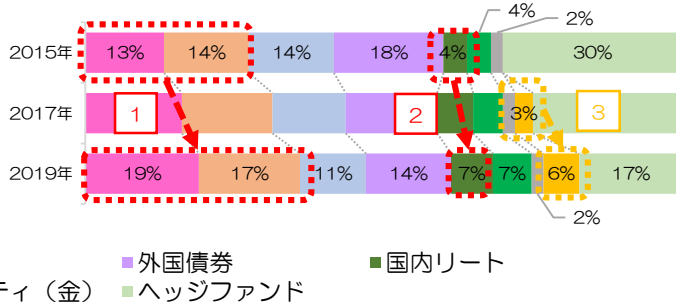
- 3 金利低下やドル安（円高）時に価格上昇が
期待でき、大きなショック時に「安全資
産」として買われやすい金を新規導入⇒
ウェイト引き上げ

◆目標資産配分比率の推移 ※各年10月末現在

ちばぎんラップ（安定型）



ちばぎんラップ（成長型）



※目標資産配分比率は、適宜見直しを行います。

※国内債券には、国内債券の代替資産としてみなした、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減をはかる世界債券ファンド、バンクローンファンド、世界物価連動債ファンドおよび米国地方債ファンドの値も含まれます。先進国債券には、一部を新興国債券に投資するファンドの値も含まれます。

※端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。

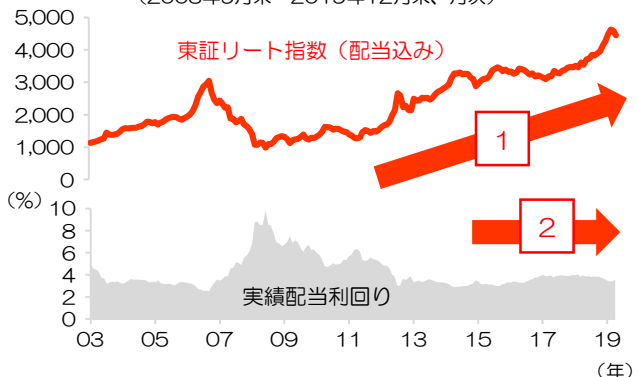
4. 国内リート、金の組入意義・狙い

国内リートの組入意義・狙い

収益力強化および分散強化のため、
国内リートの組入比率を段階的に引き上げ

◆国内リートと実績配当利回りの推移

（2003年9月末～2019年12月末、月次）

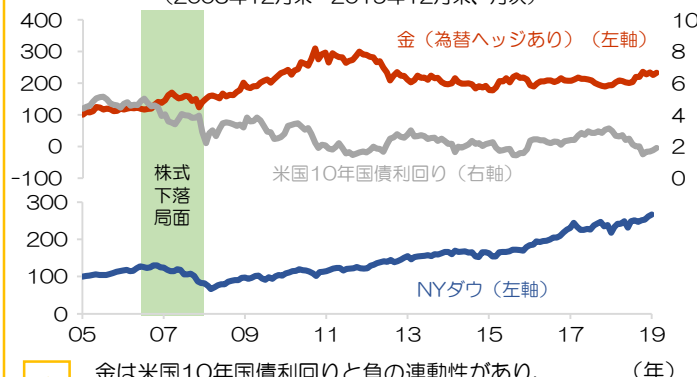


金の組入意義・狙い

「守りの資産」の分散強化のために、2017年10月に新規組入
組入効果を確認しながら組入比率を引き上げ

◆金・米国国債利回り・NYダウの推移

（2005年12月末～2019年12月末、月次）



※金（為替ヘッジあり）とNYダウはグラフの起点を100として指数化
※金（為替ヘッジあり）は、金スポットレートに日米の1ヶ月短期金利差を
為替ヘッジコストとして円換算したもの。

（出所）ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

■当資料は、投資者の皆様へ「ちばぎんコア投資ファンド（安定型／成長型）（愛称：ちばぎんラップ・ファンド）」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

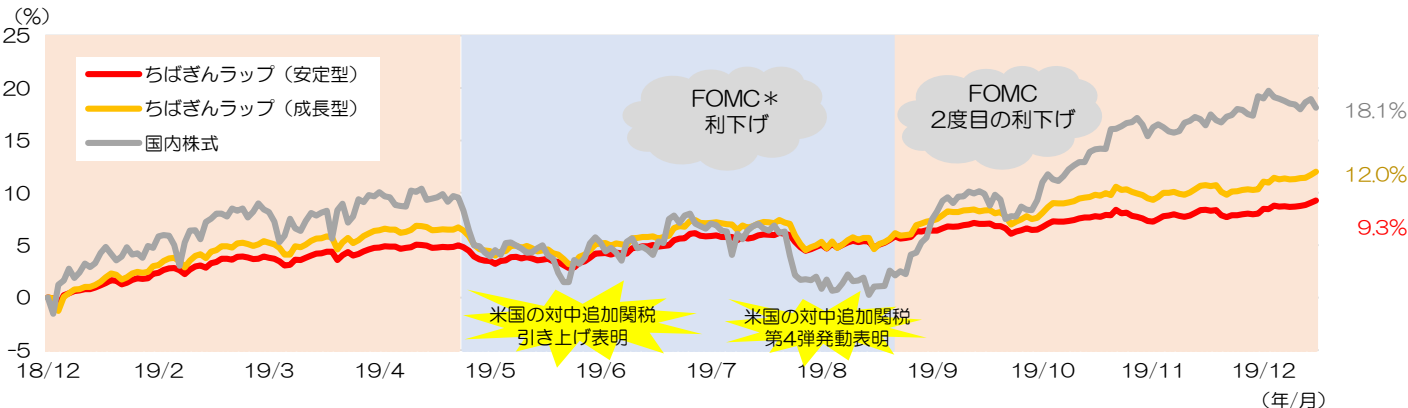
5. 過去1年間の振り返り

株式上昇局面では国内外の株式がけん引し、リターンを獲得しました。

株式下落局面では、金利低下を受けて国内リートや金などのオルタナティブ資産が上昇しました。

◆ちばぎんラップ（安定型）／（成長型）と国内株式（TOPIX）のリターンの推移

（期間）2018年12月末～2019年12月末、日次



局面別の資産別寄与度（％）	ちばぎんラップ	国内株式	国内債券	外国株式	外国債券	国内 リート	海外 リート等	コモディティ	うち金	ヘッジファンド
株式上昇局面 （2018年12月末～2019年4月末）	安定型	1.0	0.6	1.9	0.2	0.5	0.5	0.1	0.0	0.5
	成長型	1.5	0.3	2.9	0.4	0.6	0.8	0.1	0.0	0.4
株式下落局面 （2019年4月末～2019年8月末）	安定型	-0.9	1.0	-0.8	0.0	0.6	-0.2	0.9	1.1	0.4
	成長型	-1.3	0.5	-1.3	0.0	0.8	-0.2	0.9	1.1	0.3
株式上昇局面 （2019年8月末～2019年12月末）	安定型	2.2	-0.5	1.8	0.2	0.2	0.2	0.0	-0.2	-0.1
	成長型	3.1	-0.2	2.6	0.3	0.3	0.3	0.0	-0.2	-0.1

*米連邦公開市場委員会

※ファンドのリターンは、基準価額（信託報酬控除後）を使用しています。国内株式は、TOPIX（東証株価指数、配当込み）を使用しています。

（出所）ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

6. 今後のちばぎんラップの運用方針

今後の経済・市場見通し

メインシナリオ

- 世界景気は減速すれども、米国を中心に個人消費は底堅く、景気拡大局面は継続する見込みです。
- 米中貿易交渉が昨年12月「第一段階の合意」に達したことなどから、現状悪化している製造業の景況感も、循環的な回復に向かっていくことを想定しています。

リスクシナリオ

- 新型コロナウイルスによる肺炎の世界的な感染拡大、米中貿易摩擦の再燃、米国個人消費の落ち込み、中国経済の失速など世界景気の大規模な減速が懸念される事態が発生することが考えられます。

ちばぎんラップの運用方針

メインシナリオの場合

株式やリートなど「攻めの資産」のウェイトを維持する方針です。

リスクシナリオの場合

景気減速の期間や度合いを冷静に見極めた上で、株式やリートなど「攻めの資産」のウェイトを引き下げるかどうかを検討します。

※上記は2020年1月末時点での見通しであり、今後変更となる可能性があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「ちばぎんコア投資ファンド（安定型／成長型）（愛称：ちばぎんラップ・ファンド）」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、MLPの価格変動リスク、商品(コモディティ)の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、米国地方債に関する信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、資産等の選定・配分に係るリスク、ヘッジファンドの運用手法に係るリスク、仕組み債券に係るリスク、ブローカーの信用リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込みメモ

信 託 期 間	無期限(2015年7月31日設定)
決 算 日	毎年7月10日(休業日の場合は翌営業日)
収 益 分 配	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。収益分配金の受取方法により、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 単 位	販売会社が定める単位とします。(「分配金再投資コース」を選択された受益権の収益分配金を再投資する場合は1口単位とします。)詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 価 額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換 金 単 位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換 金 価 額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申 込 締 切 時 間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 不 可 日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。
ス イ ッ チ ン グ	「ちばぎんコア投資ファンド」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。(販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。)

ファンドの費用

▼お客さまが直接的にご負担いただく費用

【 購 入 時 】 購 入 時 手 数 料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
【 換 金 時 】 信 託 財 産 留 保 額	ありません。

▼お客さまが間接的にご負担いただく費用

	純資産総額に対して 年率1.58209%～1.89790%程度(税抜1.43827%～1.74472%程度)
【 保 有 期 間 中 】 実 質 的 な 運 用 管 理 費 用 (信 託 報 酬)	当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用(年率1.386%(税抜1.26%))に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用(年率0.19609%～0.51190%程度(税抜0.17827%～0.48472%程度))を加えた、お客さまが実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬がかかる場合があります。
【 保 有 期 間 中 】 そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	有価証券等の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度、監査費用、ファンドが実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等を日々、ファンドが負担します(投資対象ファンドにおいて負担する場合を含みます。)。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

委託会社およびファンドの関係法人

■ 委 託 会 社 : ちばぎんアセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]

金融商品取引業者 : 関東財務局長(金商)第443号

加 入 協 会 : 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

ホ ー ム ペ ー ジ : <http://www.chibagin-am.co.jp/>

■ 受 託 会 社 : 三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]

■ 販 売 会 社 : 当ファンドの販売会社については次ページ【販売会社一覧】をご覧ください。[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

■当資料は、投資者の皆様に「ちばぎんコア投資ファンド(安定型/成長型)(愛称:ちばぎんラップ・ファンド)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

販売会社一覧

商号等	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第39号	○		○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号	○		

【 ご留意事項 】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。